

# 2017年 プログラム近況報告

インド カンドウクール地域開発プログラム

ご支援によりカンドウクール地域の  
子どもたちの生活が改善しています



カンドウクール地域開発プログラム マネージャー  
マーラプディ・ジョンソン

カンドウクール地域の子どもたちをご支援くださり、ありがとうございます。おかげさまで多くの子どもたちと家族に支援を届けることができています。今年の最大の成果は、栄養不良の子どもたちの栄養・健康状態改善に必要な活動を実施した結果、子どもたちの健康状態が回復したことです。

一方、最大の課題は子どもたちが質の良い教育を受けられていないことです。課題はありますが、皆さまからのご支援によって地域に変化がもたらされています。皆さまのご支援と励ましに、心よりお礼申し上げます。

# カンドゥクール地域での 主な成果



チャイルドの絵「アヒル」(アンジャリ、12歳)

## 健康状態が改善しました

子どもたちが十分な栄養をとって成長しています。1,100以上の世帯が家庭菜園を始めるための支援を受けたことにより、1,345人の子どもたちが健康に良いものを食べられるようになりました。また、重度の栄養不良の子どもを持つ24人の母親が12日間の栄養講習会に参加し、子どもたちの体重を増やすために栄養ある食事を作る方法を学びました。

## 教育を受けました

生徒たちが勉強するために必要なものが学校にそろいました。551人の生徒たちがより良い学校生活を送れるよう、通学カバンやノート、ペン、水筒などを提供しました。



チャイルドの絵「生活のルール」  
(クーシ、16歳)

## 地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

子どもたちが暮らす地域がより安全になっています。8つの子ども保護グループが啓発キャンペーンを行った結果、子どもたちを危険から守る方法についての知識が多くの家庭に広まりました。

より多くの子どもたちが自分の意見を表明できるようになりました。合計で755人の子どもたちが地域の集会に参加し、自分たちに影響のある問題について意見を述べました。



チャイルドの絵「遊ぶ子どもたち」  
(ディーブシカ、15歳)

## 価値ある存在として尊重され愛情を受けました

より多くの子どもたちが、家族に愛され大切にされていると感じています。合計で1,400人の子どもたちが、家庭環境を改善するためにそれぞれの家庭で自分の思いを言い表すよう勧められました。また、7,640人以上の子どもたちが、「自分は家族に愛され大切にされていると思う」と回答しました。

「私の息子の栄養状態は良くありませんでした。けれども、菜園を作って野菜を育てられるよう支援してもらい、息子にもたくさん食べさせられるようになりました。おかげで今では息子もすっかり健康になり、元気に就学前教育センターに通っています。」

ナガマニさん（地域の母親）



「ぼくは子どもグループのリーダーをしています。子どもグループでは、良い行動とは何かということや、皆で協力しあうことを学びます。グループの活動を通して、ぼくたちメンバーはもっと勉強してほかの人を助けたいと思うようになりました。」

セカール君（12歳）

「両親が私の手伝いを必要としていたので、私は学校をやめました。その後、ワールド・ビジョンの職業訓練講習会で服の仕立てを習い、今は仕立ての仕事で収入を得て家族を助けています。」

イエスクマーリちゃん（15歳）

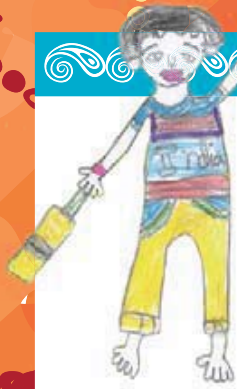


「今年の雨不足の影響はとても大きいものでした。仕事にもありつけず、食べるものにも事欠くほどでした。けれども、ワールド・ビジョンは私たちのために飲料水や食料を配布して助けてくれました。」

マリヤドゥリさん

（地域住民のリーダー、後列の白いシャツの男性）





チャイルドの絵  
「クリケットをし  
ているところ」  
(チャハト、8歳)

# 息子を 栄養不良から守る

「私は夫と息子と3人で、小さな草ぶき屋根の家に住んでいます。夫はマンゴー農園の見張り役として働いていましたが、給料は多くありませんでした。息子が衰弱して病院に連れて行かなくてはならなくなった時、私たちは治療費のために借金をしなければなりません」と話すのは、1歳になるサルヴァン君の母親、スラヴァニさんです。

「ある日、ワールド・ビジョンのスタッフがやってきて、子どもたちの健康診断をしました。そこで、息子の体重が標準をかなり下回っていて、特別な手当が必要な状態だと言われました。そのスタッフに私たちの状況を話したところ、息子により良い食事を与え健康状態を改善できるよう、野菜販売の商売を始めるための支援をしてくれました。

息子のサルヴァンの栄養状態は、今はすっかり良くなりました。夫は近くの農場で働くようになり、給料が増えました。商売で得た収入を貯めて、借金も返済できました。今感じている喜びは言い尽くせません。本当に感謝しています。」



スラヴァニさん（写真中央）は村で野菜を売っています。その収入で家計をまかない、息子の栄養状態の改善に努めています

プログラム番号：IND-195545



お問合せ先  
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
電話：03-5334-5351（平日9:30~17:00）  
e-mail：dservice@worldvision.or.jp  
ホームページ：www.worldvision.jp

**インド カンドゥクール地域開発プログラム (IND-195545)**  
**2016年度 (2015年 10月1日-2016年 9月30日)**

**会計報告**

<b>プログラム支援額</b>	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	13,982,247
前期からの繰越額	242,493
プログラム支援額合計	14,224,740

<b>プログラム支出額</b>	
栄養プロジェクト	9,972,835 ●
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	4,150,406 ●
プログラム支出額合計	14,123,241
次期繰越額	101,499

**活動内容**



**栄養プロジェクト**

- ・栄養改善プログラムの実施
- ・母親や妊産婦を対象にした啓発活動
- ・特に貧しい世帯を対象にした収入向上支援

**スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト**

- ・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- ・チャイルドの定期的なモニタリング
- ・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- ・特に貧しい世帯の子どもを対象にした学用品の支給
- ・子どもたちへのライフスキル・トレーニング<sup>\*</sup>の実施

※問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術を学ぶ研修